

産業衛生技術部会専門研修会

1. 地元企業の産業衛生活動

中川 剛

株式会社野田市電子

【会社の紹介】

株式会社野田市電子は、今年で創業140年を迎える株式会社野田市兵衛商店から分離独立した会社で、半導体事業部、環境分析事業部、人材ソリューション事業部、ITソリューションの4つの事業部を持つ会社です。その中でも半導体事業部は来年で半導体製造50年を迎えます。

正社員約200名に対し、勤続20年を超える方が65名を超えるなど離職率も低く働きやすい会社だと思っております。

【産業衛生活動の実際】

■ 当たり前のことを当たり前にやる

弊社は昭和44年から三菱電機の協力工場として半導体（IC）の製造に携わり、その後、ルネサス、ジェイデバイスといった変遷もありましたが、その間大手企業の活動をお手本にすることができました。安全衛生活動もその一つであり、社員の意識付けとして以下のようなことを継続することで労災の防止に役立てています。

- ・ 標語の募集（品質、安全（労災、交通安全）、衛生）
- ・ 安全バッジの着用（全国安全週間準備期間及び期間中）
- ・ 設備の安全点検（日常点検としてインターロック動作の確認等）
- ・ 避難訓練（消火器・AEDの使い方を体験する）

また、現場での独自の活動として、朝礼時に過去に起こったトラブル事例へ対策までを紹介し、再発防止につなげています。過去のトラブルを紹介するに当たっては、親企業であったり同じ協力工場の情報も紹介できるという利点があったため、自社で起こったこと以外の事故、怪我などの防止につなげることが出来ています。

あとは、健康診断、ストレスチェックなど法で決められたこと等、やるべきことをきっちりとやるということを実践しています。

■ 心と体を良い状態に保つ

～価値観の共有、良い人間関係・組織作りによる働きやすい職場へ～

まず、経営側の活動として、価値観を共有するために、社長自らが社員と直接話す機会や社長の価値観を直接話す機会を作っています。

演者略歴

武蔵工業大学工学部建築学科卒業

昭和60年4月 株式会社野田市電子入社 品質保証課配属、その後技術課課長、総務部長を経て2015年常務取締役就任、現在に至る

その一つが毎月の社長集会。社長自ら事業部ごとに先月の業績、今後の見通しやトピックス、安全衛生活動の実績・予定について社員に話をします。

それから、社長研修の開催です。弊社には社是・社訓があり、毎朝全員で唱和しておりますが、社長研修と称し、少人数のグループに分け社長から社是・社訓に込めた想いを解説してもらい、社員一人一人により深く社長の想いを理解してもらおう活動を続けてきました。その研修では野田市兵衛商店も含めた5事業部を一緒のグループにすることで各事業部間のコミュニケーション作りにも役立ててきました。また、メンバー一人ひとりが自分の目標や進捗を発表することで各々の事業部の仕事内容の理解にも繋がっています。

その他、その年度の方針発表の時のキックオフ懇親会、一年に一度の全体行事といった行事を開催し、経営層と社員のコミュニケーション作り、他事業部間の社員同士のコミュニケーション作りを行っています。

次に現場での活動です。

まず、第一に欠かせないのが社員への声かけです。毎日声を掛けることで、その日の体調を確認したり、思い悩んでいるようなことが無いか確認しています。当たり前と言えば当たり前のことですが、地道な活動が社員同士の信頼に繋がると考えております。

それから、社外活動への参加として、リレーマラソンへの参加、熊本城マラソンボランティアや熊本県環境保全協議会の環境美化活動などに参加することで、体力アップやチーム力強化を図っています。

【今後の取り組み】

熊本は2年前に大きな2度の地震にみまわれました。

奇しくも、2年前からストレスチェックが始まり、社員の皆さんには自分のストレスの状態を確認してもらっています。まだストレスチェックの結果を活用することが出来ていませんが、地震によるストレスや仕事上のストレスをうまく解消し、更に良い人間関係、組織を作ることによりその人の持つ能力を最大限に活かしていける職場にしていきたいと考えております。